

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月15日 (2008.5.15)

【公表番号】特表2007-526256(P2007-526256A)

【公表日】平成19年9月13日 (2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-501066(P2007-501066)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/20 (2006.01)

A 6 1 K 9/14 (2006.01)

A 6 1 K 9/48 (2006.01)

A 6 1 K 9/10 (2006.01)

A 6 1 K 31/46 (2006.01)

A 6 1 K 31/485 (2006.01)

A 6 1 K 47/22 (2006.01)

A 6 1 K 47/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/20

A 6 1 K 9/14

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/10

A 6 1 K 31/46

A 6 1 K 31/485

A 6 1 K 47/22

A 6 1 K 47/08

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/24

A 6 1 P 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月27日 (2008.3.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 又は複数のアルカロイドと 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体との反応生成物を含むアルカロイド製剤。

【請求項 2】

前記電子伝達剤が、鏡像体及びラセミ体におけるアルファ、ベータ、ガンマ、及びデルタトコールを含むヒドロキシクロマン；ビタミン K 1 及びユビキノンの還元型となるキノール；レチノールを含むヒドロキシカロテノイド；カルシフェロール、アスコルビン酸、

及びそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 1 に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 3】

前記電子伝達剤が、トコフェロール及び他のトコール群、レチノール、ビタミン K 1、及びそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 1 又は 2 に記載のアルカロイド剤。

【請求項 4】

前記電子伝達剤が、前記トコール群、及びそれらの混合物からなる群より選択される、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 5】

前記電子伝達剤が、 α -トコフェロールである、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 6】

前記 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体が、トコフェロールの 1 又は複数のリン酸塩誘導体を含む群より選択される、請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 7】

前記 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体が、モノトコフェリルホスフェイト、ジトコフェリルホスフェイト、及びそれらの混合体からなる群より選択される、請求項 1～6 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 8】

前記 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体が、モノトコフェリルホスフェイト及びジトコフェリルホスフェイトの混合体である、請求項 1～7 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 9】

前記 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体が、リン脂質である、請求項 1～8 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 10】

前記アルカロイドが、3つの環の共通の構成員として窒素原子を有する脂環式の第3級アミン；窒素原子が単一の環に組み込まれ、そしてアルキル化された第3級アミン；又は窒素原子を組み込んだ環状構造を有さない第3級アミン；及びそれらの混合である第3級アミンからなる群より選択される、請求項 1～9 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 11】

前記アルカロイドが、アトロピン、キニーネ、オピオイド、フェンタニル、ニコチン、フェンスピリド、フルゼパム、及びコデインからなる群より選択される、請求項 1～10 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 12】

前記アルカロイドがアトロピン又はモルヒネである、請求項 1～11 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 13】

前記製剤が、局所製剤、経口製剤又は口腔製剤である、請求項 1～12 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 14】

前記製剤が経口製剤であり、腸溶コーティングをさらに含む、請求項 1～13 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 15】

前記製剤が、タブレット、チュアブル剤、カプセル、粉末剤、懸濁液、経口懸濁液、乳濁液、流動体、小児用製剤、経腸栄養剤、栄養補助食品、機能性食品、栄養補助食品、座薬、パッチ、クリーム又はゲルの形態である、請求項 1～14 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 16】

前記製剤が、非経口デリバリー、経鼻デリバリー、皮膚デリバリー又は経皮デリバリーのために配合される、請求項 1～12 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤。

【請求項 17】

前記アルカロイドを 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体と反応させるステップを含む、アルカロイドの効果を改良する方法。

【請求項 18】

アルカロイド製剤の製造における、前記 1 又は複数の電子伝達剤の 1 又は複数のリン酸塩誘導体と前記 1 又は複数のアルカロイドとの反応生成物の使用。

【請求項 19】

改良された効果を有する薬剤の製造における、請求項 1～16 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤の使用。

【請求項 20】

請求項 1～16 のいずれか 1 項に記載のアルカロイド製剤、及び医薬として許容される塩を含む、医薬組成物。